



# 誹謗中傷等の違法・有害情報への対策に関する ワーキンググループ（第8回） における構成員からの主なご意見

---

2023年9月4日  
事務局

## 「今後の検討の方向性（案）」への意見募集結果について

- 再度意見募集をしながら、もう少し広く意見募集をしたほうがいいのかと思います。その理由としては、こういったバランスがかなり難しいルールメイキングの分野に関しては、様々な施策の多様な意見が必要ではないかと思っています。もう一度、プラットフォーム事業者の方々などに、意見していただくのは恐縮ではあるんですけども、御協力をお願いできたらというのが1点です。【伊藤構成員】
- 今回のアジェンダそのものが、これまで20年間にわたってある種機能してきたプロバイダ、プラットフォームの責務・責任というインターネットの一番基本的なところに関わる、非常に重要なルールの見直しを行おうというものである。そうしたときに、まさしく、できる限り広く多様な主体の方々から意見をいただくという形で、1度に限らず、広く御意見をいただこうということは私自身も望ましいのではないかと思います。【生貝構成員】
- パブコメで集まった御意見は非常にいずれも貴重なものであり、今後の検討、このワーキンググループでの議論に非常に参考になる御意見をいただいていると同時に、論点ごとに、ここは事業者の方からの御意見が非常に多く見られた、こちらは表現の自由を大事にされる側から、あるいは被害者の方の御意見が出てきて、むしろ事業者の方の御意見が出ていないといった部分があります。このワーキンググループで、デジタル空間における人格権の保護を含む違法・有害情報対策と、表現の自由、情報流通、知る権利の自由のバランスを取るという非常に重大な課題を考える上で、やや心もとなく、まだもう少し御意見を伺ってみたいと思います。【宍戸主査】
- 再パブコメは直近の短期的な対応策ですが、その代替ではなく追加として、さらにその先の、より中期的・長期的な視野での、本WGの今後の検討の進め方に関するご提案です。現行パブコメ手続での意見表明は難しいであろう、社会のサイレントマジョリティやより弱い立場の方々の声を、これまで以上に先んじて積極的（proactive）に、政策形成の過程に反映させることができれば、望ましいと存じます。現行の法制度の下ではバランスを欠く形で負担がかかっている関係主体のエンパワーメントに資するために、政策形成の新たな<環境>や<仕組み>のデザインを、対抗利益間のバランスをとりつつ、また、短期的・中期的・長期的視野での対応策の検討を並走させながら、むしろ本WG側から提案していくことも、本WGに期待される役割であろうと、私は考えています。【山口構成員】